

三ヶ島地区ところワゴンについて

1 運行実績について（資料 2 - 2、 - 3、 - 4）

- 令和 3 年 4 月に 1,000 人の利用者数から始まった三ヶ島地区ところワゴンは、令和 4 年度は各月約 3,000 人程度の利用があり、令和 3 年度と比較して利用者数は増加しています。
- 令和 4 年度の利用人数は目標の 80 人/日に達していますが、収支率は 14%/年で目標の 20%/年に達していない状況です。

2 アンケートについて（資料 3）

- ところワゴン利用者へのアンケートによると、50%以上の方が「満足」又は「まあまあ満足」と回答しております。また、ところワゴン導入後の方が、外出機会が増えており、外出機会の創出につながっていることが分かります。
- また、収支率の改善のため、仮に運賃を値上げした場合、いくらまでなら現状と同じ頻度で利用するかと尋ねたところ、金額が 100 円上がるごとに利用者数は半数程度に減少していくことが分かりました。
- 地域住民の方へのアンケートによると、90%超の方がところワゴンを認知しているものの、約 80%の方が利用していない状況です。
- 利用していない方に利用しない理由を尋ねたところ、「自家用車等を利用しているため、ところワゴンを利用する必要がない」と回答した方が最も多く、今後、こういった方々が自家用車使用から公共交通への利用に転換を図るよう周知・啓発を行う必要があります。

3 ルート・停留所（案）について（資料 4）

- 上述 1・2 にあるとおり、利用者数は増加し、外出機会の創出にもつながっており、三ヶ島地区内の移動手段として一定の効果が認められます。
- 実証運行期間が終了する令和 6 年 4 月以降も三ヶ島地区にところワゴンを運行させることを希望するとの意向が地域住民から示されております。
- 以上から、三ヶ島地区にところワゴンを本格導入（令和 6 年 4 月以降）することについて、所沢市地域公共交通協議会にお諮りするものです。
- なお、ルートは現状維持とし、ある一定の需要が見込まれる箇所に停留所を新設する方向で検討します。
- また、本格運行に当たっては、利用人数の目標は上方修正するとともに、収支率を改善するため、引き続き利用者数の増加や広告収入の方策を検討していきます。